

広域振興局長 様

提出者 森永乳業株式会社盛岡工場

住所 〒020-0133 岩手県盛岡市青山2-3-14

氏名 工場長 佐藤 昭佳

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	森永乳業株式会社 盛岡工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	〒020-0133 岩手県盛岡市青山2-3-14	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,285 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	1 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡工場	〒020-0133 岩手県盛岡市青山2-3-14	3,285 kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（添付半覽を作成の上、添付してください。 (A4)



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油	0.10	kL	4		kL		4	0		0
A重油	56.83	kL	2,211		kL		2,211	156	149	8
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	5.46	t	273		t		273	16	18	-1
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
石炭	原料炭	輸入原料炭	t		t					
		コークス用原料炭	t		t					
		吹込用原料炭	t		t					
	一般炭	輸入一般炭	t		t					
		国産一般炭	t		t					
輸入無煙炭	t		t							
石炭コークス	t		t							
コールタール	t		t							
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
都市ガス	1,163.02	千m ³	52,336		千m ³		52,336	2,547	2,552	-5
その他の燃料()										
()										
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		千m ³			千m ³					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計①							54,823	2,720	2,718	2
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	8,309.27	千kWh	71,792		千kWh		71,792	3,964	3,839	125
電気事業者② ※複数契約している場合使用	83.93	千kWh	725		千kWh		725			
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電	太陽光	千kWh			千kWh					
	水力	千kWh			千kWh					
	風力	千kWh			千kWh					
	その他	千kWh			千kWh					
小計③							72,517	3,964	3,839	125
合計 ④=①+②+③							127,341	6,684	6,557	126

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	3,285	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	6,684 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量		t-CO ₂
合 計		6,684 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

(目標値) ① CO2排出量を2030年までに2013年度比で23%以上削減する。
2024年度 年間排出量 6,877 t-CO2 以下

② エネルギーの使用に係る原単位を毎年前年比1%改善する。
2024年度 原単位 0.1466 以下
原単位=エネルギー使用量原油換算/売上金額
(2023年度原単位 0.1481 エネルギー使用量原油換算3,234kL, 売上金額 21,831百万円)

(達成状況)

① 2024年度 年間排出量 6,684 t-CO2 (目標クリア)

② 2024年度 エネルギーの使用に係る原単位 0.1478 (目標未達成)
(2024年度 エネルギー使用量原油換算3,285kL, 売上金額 22,230百万円)
夏季、記録的な猛暑により冷却設備の消費電力が増加したため

【具体的な取組状況】

・空調機節電対策 AC4空調機運転方法改善	電力削減 16.7千kWh/年
・冷凍機節電対策 アイスバンク冷却水回収	電力削減 11.2千kWh/年
・ロス低減・漏れ対策 蒸気漏れ修繕、保温改善、放熱ロス低減 エア漏れ箇所調査, エア漏れ修繕	蒸気ロス改善 252.9t/年 電力削減 20.9千kWh/年
・水処理設備節電対策 ROインバータ周波数変更による節電	電力削減 8.7千kWh/年
・ブローアの節電対策 スチーマーブローアの運転方法改善	電力削減 109.5千kWh/年
・溶解作業の効率化対策 仕込バッチ運用方法改善	電力削減 1.5千kWh/年

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・用水使用量 目標:305千m³/年以下 実績:314千m³/年 目標未達成
主な取り組み:チルド水回収、各所漏れ点検・修理による用水削減、洗浄方法の見直し
改善を実施したが製造量の増加に伴い、用水使用量も増加した。
- ・食品廃棄物発生量 目標:550t/年以下 実績:531t/年 目標達成
主な取り組み:製造工程の安定稼働、ロットアウトトラブル削減
- ・産業廃棄物排出量 目標:410t/年以下 実績:391t/年 目標達成
主な取り組み:製造工程の安定稼働、ロットアウトトラブル削減、廃棄物の分別強化